

2026 年 4 月 1 日

がん関連学術研究団体

代表者 殿

公益財団法人 日本対がん協会

会長 垣添忠生



2026 年度「日本対がん協会賞」「朝日がん大賞」候補推薦のお願い

謹啓

春陽の候、朝日新聞社の皆様におかれましては益々ご清栄のこととお慶び申し上げます。日頃より弊会の活動に対し、深いご理解と厚いご支援を賜り、感謝を申し上げます。

さて、本年度もがん征圧活動にご尽力されてきた方々に「日本対がん協会賞」「朝日がん大賞」をお贈りし、ご功績を称えさせていただきたいと考えております。つきましては、ご多忙な中、誠に恐れ入りますが、候補をご推薦いただきますよう、よろしくごお願い申し上げます。

1968(昭和 43)年度創設の日本対がん協会賞は、長年にわたり対がん活動に力を尽くされた個人・団体が対象です。この特別賞として 2001(平成 13)年度に朝日新聞社の協力を得て創設された朝日がん大賞は、がん予防を中心とした研究や開発、がん患者支援などで優れた実績を挙げ、いまま第一線で活躍されている個人・団体が対象です。

ご推薦いただいた候補については、有識者による選考委員会が審査し、日本対がん協会賞は個人、団体で各数件、朝日がん大賞は個人または団体を 1 件選出します。受賞者はがん征圧月間を迎える 9 月 1 日(月)付で発表し、同 11 日(金)に秋田市で開催する「がん征圧全国大会 秋田大会」で表彰式を行います。日本対がん協会賞の受賞者は正賞(盾)と副賞(記念品)、朝日がん大賞の受賞者は正賞(盾)と副賞(100 万円)が贈呈されます。

日夜ご尽力されている方々を顕彰するため、多くの方のご推薦をいただきたいと存じます。どうぞ、よろしくごお願い申し上げます。

謹白

※推薦状と論文資料は、下記宛へご郵送いただきますようお願いいたします。

送付先：〒104-0045 東京都中央区築地 5-3-3 築地浜離宮ビル 7 階
日本対がん協会「日本対がん協会賞」係 宛
締め切り：6 月 30 日(火)必着

※詳細は日本対がん協会サイト (<https://www.jcancer.jp/>) の「お知らせ」をご参照下さい。
こちらから推薦用紙をダウンロードできます。

■お問い合わせ先■

日本対がん協会 広報担当

電話：03-3541-4771(代表)

メール：jcskouhou@jcancer.jp

2026(令和8)年度「日本対がん協会賞」「朝日がん大賞」募集要項

2026年度日本対がん協会賞および朝日がん大賞の候補者を募集します。

多くの候補者の推薦をお待ちしています。

【日本対がん協会賞】

■趣旨■

対がん活動に顕著な功績のあった個人及び団体を顕彰して、がん征圧運動の一層の高揚を図ることを目的とする。対がん活動とは、広くがん征圧のための運動、事業、研究を指すが、とくに「予防活動」の第一線で顕著な功績を上げた個人（団体）や、多年にわたって地道な活動を続けた個人（団体）に光をあてる。

■推薦基準■

- ① 「多年」とは、おおむね10年以上をいう。
- ② 適正ながん知識の普及や啓発に対する功績。
- ③ 精度の高い各種がん検診の普及や推進に対する功績。
- ④ 奉仕活動や募金活動に対する功績。
- ⑤ がんの早期発見および治療に関する調査・研究・開発での功績。

【朝日がん大賞】

■趣旨■

日本対がん協会賞の特別賞として2001(平成13)年に創設。対象分野は、日本対がん協会の活動の柱である「がん予防」全般であり、がん征圧に向けて優れた実績をあげて社会に貢献し、かつ、第一線で活躍している個人・団体を顕彰する。また、将来性のある研究の発掘、医療機器類の研究・開発、患者・治癒者の活動やケアなどの分野も対象とする。

■推薦基準■

- ① がんの予防や検診のあり方等の研究で、将来期待できる成果を挙げた個人や団体。
- ② 画期的な検診機器の開発に関して功績を挙げた個人や団体。
- ③ 患者・治癒者を支える研究や活動などで顕著な貢献をした個人や団体。

【応募期間】

いずれも、2026年4月1日（水）～2026年6月30日（火）＝必着厳守

【応募方法】

日本対がん協会サイト「募集要項」(<https://www.jcancer.jp/recruit/16262>)から所定の推薦用紙をダウンロードして必要事項を記入のうえ、下記へ郵送する。資料は同封し、論文の場合は代表的なもの5本（主著論文）まで。いずれも推薦用紙・資料は返却しない。

〒104-0045 東京都中央区築地 5-3-3 築地浜離宮ビル7階
公益財団法人 日本対がん協会
「日本対がん協会賞」係

【選考方法】

- ① 両賞とも有識者で構成する「日本対がん協会賞選考委員会」で行ない、日本対がん協会の理事会を経て決定する。
- ② 日本対がん協会賞は個人と団体の各数件、朝日がん大賞は個人または団体の1件とする。

【発表と表彰】

推薦者（応募者）に採否を通知するほか、がん征圧月間が始まる9月1日付で、日本対がん協会の機関紙「対がん協会報」及び公式webサイトで発表する。

表彰式は2026年9月に秋田市で開催する「がん征圧全国大会」で行う。日本対がん協会賞は正賞（レリーフ）と副賞（記念品）、朝日がん大賞は正賞（レリーフ）と副賞（100万円）が贈呈される。

■お問い合わせ先■

〒104-0045

東京都中央区築地 5-3-3 築地浜離宮ビル7階

公益財団法人 日本対がん協会

広報・がん教育グループ

TEL 03-3541-4771 / FAX 03-3541-4783

Mail : jcskouhou@jcancer.jp

日本対がん協会賞・朝日がん大賞の受賞例（過去5年）

2025(令和7)年度

■朝日がん大賞 井上 真奈美 氏 国立がん研究センターがん対策研究所 副所長

「疫学研究データに基づく日本人のがん予防の優先順位づけ」

■日本対がん協会賞

◇個人の部 兵 庫 伊藤 一夫 氏 兵庫県健康財団 理事

・兵庫県での健診（検診）普及に尽力し、肺がんなどの早期発見に貢献

兵 庫 岡村 信介 氏 姫路市医師会診療所 医師

・子宮頸がん検診の普及啓発に尽力 新たな検査方法の導入にも貢献

北海道 長瀬 清 氏 北海道対がん協会 名誉会長

・北海道のがん対策推進、道民の健康増進に貢献

福 井 松田 一夫 氏 福井県健康管理協会 がん検診事業部長

・国と福井県のがん対策の策定に貢献、対策型がん検診の啓発にも尽力

◇団体の部 秋 田 あげぼの秋田（会長：佐藤 清子 氏）

・乳がん患者の交流と情報交換の場づくり、QOL(生活の質)向上、予防啓発に貢献

2024(令和6)年度

■朝日がん大賞 中釜 斉 氏 国立がん研究センター理事長

「全ゲノム情報に基づく新たな治療薬の開発やがん予防への貢献」

■日本対がん協会賞

◇個人の部 神奈川 雨宮 清 氏 雨宮クリニック 院長

・婦人科がんの研究・治療に長年重視し、がん検診・予防啓発にも尽力

鹿児島 池田 琢哉 氏 鹿児島県民総合保健センター 前理事長

・行政との連携強化、がん検診の体制整備などで県民の健康増進に貢献

山 梨 長田 忠孝 氏 山梨県健康事業団 理事

・肺がんを中心に検診・治療に尽力、在宅での看取りなど地域医療に貢献

香 川 久米川 啓 氏 香川県総合健診協会 会長

・消化器がんの外科治療に尽くし、女性のがん検診受診率向上にも取り組む

◇団体の部 滋 賀 滋賀県がん患者団体連絡協議会（会長：菊井 津多子 氏）

・患者・行政・医療の橋渡し役となり、地域のがん対策推進の原動力になっている

2023(令和5)年度

■朝日がん大賞 秋山 正子 氏 認定 NPO 法人マギーズ東京 共同代表理事・センター長

「長年にわたる訪問看護や在宅ケア、マギーズ東京などを通じたがん患者・家族支援」

■日本対がん協会賞

◇個人の部 山 口 伊東 武久 氏 徳山中央病院 緩和ケア内科 主任部長

・長年にわたり婦人科がんの予防と治療、緩和ケア医療に尽力

埼 玉 高橋 道子 氏 東大宮クリニック院長

・子宮頸がんはじめ女性のがんの治療、知識の普及に貢献

福 井 広瀬 真紀 氏 福井県がん検診精度管理委員会 幹事

・福井県内のがん検診の一元的管理、精度管理の向上、均てん化に尽力

山口 松本 常男 氏 山口県予防保健協会 副理事長

・肺がん検診の画像読影、後進の指導などを通し、山口県民の健康増進に貢献

◇団体の部 東京 東京都立駒込病院（院長：戸井 雅和 氏）

・コロナ禍の中で造血幹細胞移植を続けたほか、学校でのがん教育で知識普及に貢献

2022(令和4)年度

■朝日がん大賞 祖父江 友孝 氏 大阪大学大学院医学系研究科社会医学講座 環境医学 教授

「疫学データに基づく日本のがん対策への貢献」

■日本対がん協会賞

◇個人の部 神奈川 渡會 伸治 氏 石川町内科クリニック 院長

・大学病院などで学んだ技術や経験を生かし、経済的に困窮する患者らを診察

三重 中井 昌弘 氏 三重県健康管理事業センター 理事 兼 診療所長

・健診業務と結核・生活習慣病の予防の普及啓発に長年にわたって尽力

栃木 菱沼 正一 氏 栃木県立がんセンター 名誉理事長

・肝胆膵の外科手術に熟練し、栃木県内のがん治療の進展に貢献

◇団体の部 東京 特定非営利活動法人 Hope Tree（ホープ ツリー）（代表理事：大沢 かおり 氏）

・親のがんや死についてどう伝えるかなど、がん患者の子どもを支える活動に取り組む

2021(令和3)年度

■朝日がん大賞 天野 慎介 氏 一般社団法人 グループ・ネクサス・ジャパン 理事長

「長年にわたるがん患者支援活動と患者代表としての意見発信」

■日本対がん協会賞

◇個人の部 京都 蔭山 典男 氏 京都岡本記念病院 乳腺外科 主任部長

・受診者の利便性と受診率の向上に努め、京都府での乳がん検診事業に貢献

群馬 猿木 信裕 氏 群馬県衛生環境研究所 所長

・地域がん登録、院内がん登録の相互連携を図り、がん登録事業の基盤づくりに貢献

宮城 渋谷 大助 氏 一般社団法人 日本消化器がん検診学会 理事長

・胃がん検診を通じ、ピロリ菌感染と胃がんの情報提供、リスク層別化に取り組む

秋田 戸堀 文雄 氏 公益財団法人 秋田県総合保健事業団 理事長

・がん登録や胃がん・大腸がんの疫学調査などを通じて、秋田県のがん対策に貢献

◇団体の部 大阪 ケムラン ～屋内完全禁煙の飲食店を応援する会～（管理人：伊藤 ゆり 氏）

・がんリスクを高める受動喫煙に着目し、「屋内完全禁煙の美味しい飲食店」をサイトで公開

※1968(昭和43)年度の第1回からの受賞者・団体名を記載した2026年度版の名簿は、日本対がん協会サイト「朝日がん大賞・日本対がん協会賞」(下記 URL)からデータをダウンロードできます。

https://www.jcancer.jp/about_japan_cancer_society/対がん協会の活動/朝日がん大賞・日本対がん協会賞